



修了式 時代は1・2年生へ!

寒暖の変化が激しい中にも、桜の便りが聞かれるようになり、春の心地よい暖かさを日一日と感じるようになってきました。

1・2年生のみなさん、高陽中の新しい時代が始まりました。みなさんが、どんな学校を創り上げていくのか楽しみです。ある哲学者は、「脱皮しない蛇は滅びる」と言いました。「脱皮」とは、新しい自分になることです。今まで自分を守ってくれた衣を脱ぎ捨てることには、恐怖が伴います。しかし、成長とは、失敗しないことではなく、うまくいかないことがあっても、あきらめずに行動し、日々挑戦し続けていくことです。そのために、今年度をふり返り、自分がどれだけ成長できたのか、次に何をしなければいけないのか、自分を見つめ直すことで、その何かを見つけてください。そして、4月7日、気持ちも新たにスタートができるように、充実した春休みにしてほしいと思います。

【お礼】



保護者や地域のみなさま、生徒達は、コロナ禍の中でも、負けることなく、仲間とともに、授業や学校行事、部活動に力を合わせて取り組み、一人一人確実に成長しました。生徒が成長できたのは、みなさま方のご理解とご協力があったからだと思います。至らないところも多々あったと思いますが、教職員一同心より感謝しております。ありがとうございました。令和4年度も、本校の教育活動にご支援をいただき、生徒の頑張りに励ましのご声援をお願いしたいと思います。



最後になりましたが、3年間、学校たより「竜王の風」をお読みいただきありがとうございました。

(校長 香山 浩一郎)

3月の行事から

① 1年生 自分の性と向き合う!

3月9日、保健体育の授業の締めくくりとして、為清淑子先生(All Right Lab)による性教育講演会を実施しました。思春期の中、個人差はあるものの第二次性徴を迎えている生徒たちは、真剣な眼差しで話を聞いていました。これから大人への階段を上っていく生徒たち、身体の変調は、学校生活にも大きな影響を及ぼすと思います。男女が、互いの身体のことを理解し、助け合える学年に育ってくれることを願っています。



② 14歳の春に 2年生 志を立てる!

3月8日、まん延防止措置のため、延期になっていた立志式を行い、『志』を立て、人生の指針と強い意志を表明し、前向きに自己の将来と向き合いました。自分の進路の実現に向けて、「将来を見据え」「心身を鍛え」「知能を磨く」ことを願っています。鶴見健人くんと中山麗美さんが「気持ちを考えて、責任ある行動する」「互いを高め合える人間になる」と誓いを立て、それに続いて全員が、最上級生で大きく羽ばたくための決意を、漢字に込めて宣言をしました。漢字に込められた思いに、生徒の前向きさが表れていました。宣言通り、自分に反することなく、歩んでいってください。なりたい自分に『君たちならなれる=You can be!』君たちをいつまでも応援します。ご家庭におかれましても、身近な理解者として、声援をお願いします。



③ 2年生 思い出づくり in ドイツの森!

3月15日、広島平和研修の代替活動で、1年間ともに過ごした仲間たちとの思い出づくりをドイツの森で行いました。学級の仲間たちとの体験活動や触れあい活動での笑顔が印象的だったと報告を受けました。



【※】今世界では、ウクライナへのロシア侵攻という平和を脅かす問題が起きています。広島へ行くつもりで、育んできた平和への思い(No more Hiroshima!)は、3年生へ持ち越しです。修学旅行で2年分の平和への祈りをささげることを願っています。

④ 2年生 大人たちと思いを語りあう!

3月17日、中学生・地域の大人・大学生が小グループでテーマに沿って、自分の思いを自分の言葉で伝える『本気のコミュニケーション=中学生だっぴ』を開催しました。見知らぬ者が語り合うことで、自分にとって大切なものに気づいたり、気づかされたりしながら、生徒たちは、今の自分を見つめ直したり、将来を考えたりと有意義な時間になりました。

AIが世界を動かしていく未来ですが、機械を操作するのは我々人間です。生徒たちには、人と人が「触れあい・語り合う」ことを大切にしてほしいと願っています。応援しています。

